

郷土にまつわる歴史講座
(協力) 明治文庫の会

中世の讃岐武士 —長曾我部氏の四国統一から 生駒の讃岐入りまで—

歴史ライター

講師 村井眞明氏



日時 令和8年7月12日(日)

午後1時30分~3時

場所 マルタス1階多目的ホール

定員 60人 ※予約不要・先着順

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746



土佐長曾我部の侵攻から生駒氏入部まで

戦国時代、讃岐は土佐の長曾我部元親の侵攻を受け、各地で戦いが繰り広げられた。それは、いつ、どこから始まり、どのような経路だったのか。また、その時、讃岐武士たちはどのように対応し、どこでどのような戦いをしたのか。

その後、讃岐は豊臣秀吉の支配下に入り、讃岐武士は秀吉軍として九州島津軍と戦い、古来からの中世武士の多くがその命脈を絶った。最終回は、長曾我部の侵攻から生駒氏の讃岐入りまでを説明する。

講演者プロフィール

昭和26年、多度津町生まれ
丸亀高校・京都大学法学部卒業

元香川県観光交流局長

著書：「栗林公園と歴代藩主」、「物語 中世の讃岐武士」